

(様式第8号)

長野県みらい基金 事業指定助成プログラム  
助成対象事業実績報告書

2025年 1月 31日

公益財団法人

長野県みらい基金 理事長 様

申請者：所在地 長野県松本市清水 1-2-21

団体名 まつもとフィルム commons

代表者 職・氏名 谷田 俊太郎

※押印は不要です

『長野県みらいベース』において当団体が掲載した「事業指定助成プログラム」について、  
下記のとおり報告します。

記

1 助成対象事業名

失われゆく 8mm フィルムは地域の宝 映画「まつもと日和」第2作の実現へ

2 助成対象事業の実施期間

2023年7月15日～2024年12月31日

3 助成対象事業の内容

失われゆく 8mm フィルムは地域の宝 映画「まつもと日和」第2作の実現へ

4 事業の成果

「まつもと日和」第2作の実現へ向けて、松本市民39名の方々から合計351本のフィルムをお預かりし、そのうち130本をデジタル化。20時間以上にものぼる膨大な松本の記録が蘇った。2023年度は、梓川小学校5年3組の児童達と梓川地区の地域映画づくりに取り組んだ。8ヶ月にわたり、毎月、総合的な学習の時間を活用し、フィルム集め、インタビュー教室、効果音教室、音楽教室、編集教室と、他では決して体験できない非常に貴重な授業に、生徒達も熱心に取り組んだ。

12月に「梓川の映画学校」が完成した。

その後、13組112名への取材インタビュー、8組72名の方々の奏でるBGMの録音等を重ね、

『まつもと日和2』（81分）が完成した。

10月26・27日に信毎メディアガーデンで行われた完成上映会にはのべ800人もの方々に足を運

んでいただくことができた。会場からは懐かしさにあちこちでおしゃべり声が聞こえたり、泣いたり、笑ったりと、映画を楽しんでいる様子が伺え、アンケート結果では90%以上の方が「満足」とこたえている。また、会場ホワイエでは、機材展示、ビューワー体験、フォトブース、思い出コラージュ、しゃべりば井戸端空間、サブシアター、ミニライブ、など、無料で commons や 8ミリを体感できるブースも設置し、好評を博した。

地域の記録を地域で活かす「地産地消」の映画づくりを通して、市民同士が出会い、対話し、その土地の物語を掘り起こしながら、地域のつながりをもう一度繋ぎ直すきっかけをつくることができた。世代も立場も背景もこえて、多くの人々がかつての松本の暮らしや営みに感動し、あらたな松本の「宝もの」が誕生した。

## 5 助成対象事業の実施状況を示す書類（添付）

(1) 助成対象事業収支計算書

(2) 事業の経過又は成果を証する書類

→チラシデータ別途添付

(3) その他参考となる資料

→『まつもと日和2』予告編 URL

<https://www.youtube.com/watch?v=soWgp9B1sBE>

助成対象事業 収支計算書

区分		金額 (円)	内 訳
収 入	① 本助成金	2,783,700円	
	② 自己資金 会費、事業収入、 寄付金など	34,370円	
	① その他		
収入合計		2,818,070円	( A )
支 出	助成対象経費	報償費	685,690円
		制作費	2,132,380円
		計	2,818,070円
助成対象外経費			
	計	0円	( C )
支出合計		2,818,070円	( B ) + ( C ) = ( A )

※上記報告書の裏付けとして、領収書のコピーを添付してください。

→別途添付